



優秀賞



【変状管理の訓練】変状を見つけた正解率で評価（ゲーム感覚）



スマホ（損傷図）を頼りに疑似トンネルから変状を探す



【判定の訓練】劣化進行度をヒートマップで確認

道路分野

トンネル点検模擬訓練システム TST

取組概要

トンネル点検を疑似体験し、3つの訓練カリキュラムから「点検の”質”の向上」を目指すシステムであり、「変状管理の訓練」は、点検の基礎である部位・変状区分・データ管理をゲーム感覚で習得する。「判定の訓練」は、変状事例や発生傾向ヒートマップから対策区分の判定を学習する。「診断の訓練」は、変状データベースを用いて類似変状の進行度を確認したり、豆知識付きの変状メカニズム解説集を参考に性能の推定力（見立て）を強化する。

受賞理由

トンネル内の点検教育の課題であった臨場感（位置関係、スケール感）をゲーム感覚で体験できる訓練システムを開発。技術者育成だけでなく、将来の担い手確保に貢献していることが評価された。

取組のポイント

点検教育の課題であった臨場感（位置関係、スケール感）を“ゲーム感覚”で体験できる。

コミュニケーションツールとして若手と熟練技術者の意思疎通の向上等、“共通言語化”による業務の円滑化と技術の伝承が期待できる（暗黙知→形式知）。

インターンシップや展示会等で、学生・道路管理者・一般市民に利用・視聴してもらうことで、“インフラメンテナンスの”普及活動ツール”になることも期待できる。

受賞者について



佐光正和



橋本勝文



榎 寛成



佐藤直樹



木谷彰伸



尾崎青澄

受賞者

株式会社構研エンジニアリング：
佐光正和、佐藤直樹、木谷彰伸、尾崎青澄
国立大学法人北海道大学：橋本勝文
学校法人早稲田大学：榎寛成

コメント

この度は名誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。これまで本技術開発にご協力いただきましたすべての皆さまに感謝申し上げます。今後は、TSTクラウド型メタバースとして進化させていきたいと考えております。また、引き続きイノベーションの創出、地域の活性化を目的とした産学連携の強みを活かし、“あそびごころ”を持ってインフラメンテナンス技術の研究・開発を進めてまいります。

団体概要

北の大地から、安全安心で豊かな社会づくりに貢献する建設コンサルタントの構研エンジニアリング、フロンティア精神を持って新たな時代を切り拓く北海道大学、改革の精神を持って世界へはばたき貢献する早稲田大学との産学連携によりインフラメンテナンスの“高度化と最適化の両立”を目指すグループです。

問い合わせ先

株式会社構研エンジニアリング防災施設部
<https://www.koken-e.co.jp/contact/>